

産地直送便



発行(農)山形おきたま産直センター
山形県南陽市漆山 1068
TEL 0238 (47) 7338
<http://www.okitama.net>
2016.4.1 発行 責任者 島崎栄一

雪みず田んぼ

運営委員 布施昭信

はじめまして、朝日班の布施と申します。山形県は顔の形をしていますがその口の辺りにあり、西南部には東北のアルプスと言われる朝日連峰の大朝日岳があります。

今回は、雪みず田んぼを紹介します。冬の田んぼに水？なんて思われた方もいるかも知れませんが、冬の田んぼにも水は必要なのです。

田んぼにはいろいろな生きものがいるので、水を溜めておけば水の中で生きもの達の命の鎖を切らさずにつないでおくことが出来るのです。春、生きものが活動する事で、土は豊かになり、特定の生物の急激な増加を抑えることが出来るのです。そのため、農薬や化学肥料の使用を抑えることが出来るのです。

おいしいお米を作ることはもちろん、環境を考えたお米、それが雪みず田んぼです。

今年は雪が少ないといいますが、朝日町には3月上旬でも田んぼにまだ雪があります。



有機栽培反省会

有機米生産者 島崎真人

毎年開催している有機栽培米の反省と検討をしました。

毎年課題になるのは雑草対策についてです。

除草機での除草、土作りでの除草、紙マルチでの抑草…、とメンバーそれぞれが考えながら栽培しています。

1年の成果を発表、検討します。

長年の技術の進歩により成功体験も多く聞かれるようになってきましたが、一番の好物は失敗体験です。

失敗を恥ずかしがらずに報告しあいます。

そこから対策や技術の進歩があるのです。

有機栽培は農業ですが、有機農業を通じて人としてのあり方や人生観も教えてもらっているようです。

さあ、今年も失敗を恐れず頑張ります。



温湯処理



広報委員 安部淳一

毎年、お米の種（種籾）の温湯処理を行っています。
種籾は病気の原因となるカビや細菌に汚染されていることがあるので、種まきの前に種子を消毒します。
普通は農薬を使いますが、種籾をお湯に浸たす「温湯種子消毒」という方法で、農薬を使わずに種子消毒ができます。
産直センターでは JAS 有機栽培を行っているので、農薬は使用しません。
温湯処理専用の機械を共同で使用し安全な米作りに取り組んでいます。

新理事紹介

こんにちは、倉田健三です。
今までは他の記事を書いていたので名前を覚えてくれている方もいらっしゃるでしょうか？
H28 年度より理事に就任致しました。
理事最年少です。若さとパワーで頑張るぞー!!
どうぞ、よろしくお願い致します。



理事/青年部部長 倉田 健三

産直米変更連絡用紙

山形おきたま産直センター行き→FAX 0238-47-7318

お休みや重量変更などのご連絡は、お届け日の 10 日前まで受付。

急な変更等是对応出来ない場合がございます。早めのご連絡をよろしくお願い致します。

お客様コード NO _____ (納品請求書の左上 5 桁の NO) FAX 送信日 月 日

氏名 _____ 様 ☎ - -

お休み連絡 月 日お届け分のみお休み
月～ 月までお休み

変更連絡 月 日お届け分の変更
～変更内容～